

Qanat Universe エージェント

ユーザーズマニュアル

本資料について

本資料は導入済みの Qanat Universe エージェントのご利用にあたり、その操作/設定方法を説明するものです。

導入作業にあたっては別資料「導入の手引」をご確認ください。

■ 目次


本資料について.....	ii
第1章 管理ツール.....	1
1.1 管理ツールと出来ること	1
第2章 エージェントの起動/停止.....	2
2.1 起動.....	2
2.2 停止.....	3
第3章 エージェントの動作状況の確認.....	4
第4章 エージェントの動作の設定.....	5
4.1 設定画面を開く	5
4.2 エージェント ID とエージェントキーの設定	6
4.3 プロキシサーバーの設定	7
4.4 連携するファイルを配置する場所の設定	8
4.5 テスト接続.....	9
4.6 変更内容の適用	10
第5章 エージェントのサブフォルダの作成と設定	11
5.1 サブフォルダ設定の条件	11
5.2 サブフォルダの作成	12
5.3 サブフォルダの設定	13
5.4 サブフォルダ設定の注意事項.....	13
第6章 エージェントの更新および更新に関わる設定.....	14
6.1 更新の仕組みと概要	14
6.2 アップデーターの更新.....	15
6.2.1 更新の手順	15
6.3 エージェント本体の更新	18
6.3.1 更新の手順 – 内容を確認しながら更新する場合.....	18
6.3.2 更新の手順 – 自動的に更新する場合	19
6.3.3 更新の設定	20
第7章 付録.....	23
7.1 接続がうまくいかない場合の対応	23
7.2 ログファイルの保管場所	24
7.3 設定の適用に失敗する場合の対応	25

第 1 章 管理ツール

1.1 管理ツールと出来ること

Qanat Universe エージェントの設定は管理ツールと呼ばれるプログラムでおこないます。管理ツールは Qanat Universe エージェントの導入後、常に起動し、タスクトレイに常駐します。




アイコンが隠れている場合があります。見つからない場合は横の  マークをクリックして確認してください。

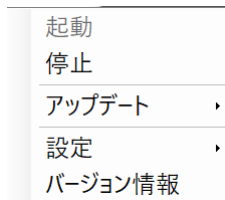
管理ツールでは以下の設定および操作がおこなえます。

- ・ エージェントの起動/停止
- ・ エージェントの動作状況の確認
- ・ エージェントの動作設定
- ・ エージェントの更新および更新に関わる設定
- ・ エージェントのバージョン情報の確認

第2章 エージェントの起動/停止

2.1 起動

タスクトレイのを右クリックし、表示されるポップアップメニューから「起動」を選択します。




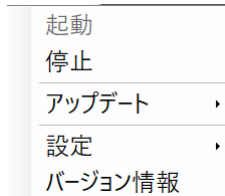
エージェントがすでに起動中の場合は、「起動」メニューは無効化され、選択することができません。

起動処理が完了するとその旨のメッセージが表示されます。



2.2 停止

タスクトレイのを右クリックし、表示されるポップアップメニューから「停止」を選択します。




エージェントがすでに停止中の場合は、「停止」メニューは無効化され、選択することができません。

停止処理が完了するとその旨のメッセージが表示されます。



エージェントの停止処理には数秒から数十秒かかる場合があります。

第3章 エージェントの動作状況の確認

タスクトレイのを右クリックし、表示されるポップアップメニューの「起動」「停止」の状況を確認します。

「起動」が無効化され「停止」が有効化されている場合、エージェントは動作中です
「起動」が有効化され「停止」が無効化されている場合、エージェントは停止中です。

なお、起動処理中、停止処理中の場合は、いずれのメニューも無効化され、選択することができません、

第4章 エージェントの動作の設定


4.1 設定画面を開く

Windows のスタートメニューから

「Qanat Universe」▶「Qanat Universe エージェント設定ツール」

 Qanat Universe エージェント設定ツール を選択します。

または

タスクトレイの  を右クリックし、表示されるポップアップメニューから

「設定」▶「エージェント」

を選択します。



Qanat Universe

Qanat Universe エージェント の設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId):	<input type="text"/>	
エージェントキー (agentKey):	<input type="text"/>	
プロキシホスト名 (proxyHost):	<input type="text"/>	既定値
プロキシポート番号 (proxyPort):	<input type="text"/>	
		テスト接続

連携対象とするローカルファイルの設定

ファイルの配置場所:	<input type="text" value="C:_qanatuniverse\qua\userdata"/>	参照
		適用

4.2 エージェント ID とエージェントキーの設定

エージェント ID およびエージェントキーはエージェントを識別するための文字列です。
サービスの提供元から提供されますので、その文字列を入力します。

「エージェント ID」および【エージェントキー】横のテキストボックスにそれぞれ直接入力できます。

Qanat Universe エージェントの設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId):

エージェントキー (agentKey):

プロキシホスト名 (proxyHost):

プロキシポート番号 (proxyPort):

既定値


テスト接続

連携対象とするローカルファイルの設定

ファイルの配置場所: C:¥_qanatuniverse¥_qua¥userdata

参照

適用

横の  ボタンをクリックすると、現在のエージェント ID をクリップボードにコピーすることができます。

4.3 プロキシサーバーの設定

プロキシサーバーの設定を変更したい場合は、直接入力するか、「既定値」ボタンを押すことで現在システムで利用している値を取得します。

Qanat Universe

Qanat Universe エージェント の設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId): _____

エージェントキー (agentKey): _____

プロキシホスト名 (proxyHost): _____

プロキシポート番号 (proxyPort): _____

既定値

テスト接続

連携対象とするローカルファイルの設定

ファイルの配置場所: C:¥_qanatuniverse¥_qua¥userdata

参照

適用

4.4 連携するファイルを配置する場所の設定

連携するファイルを配置する場所を指定します。

連携するファイルを配置するフォルダまでのパスを入力します。

「参照」を押し任意のフォルダを選択することも可能です。

Qanat Universe エージェントの設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId):

エージェントキー (agentKey):

プロキシホスト名 (proxyHost):

プロキシポート番号 (proxyPort):

既定値

テスト接続

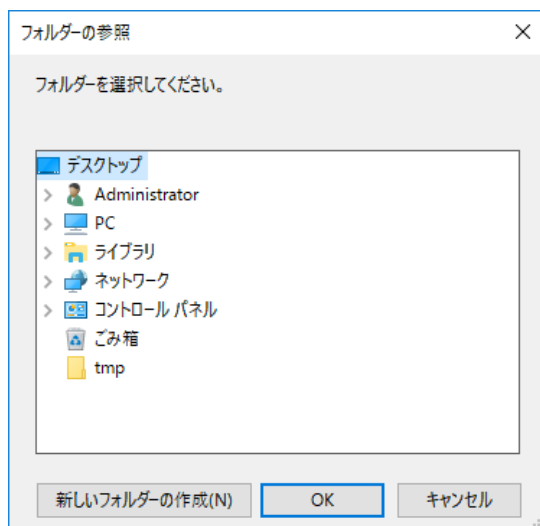
参照

適用

連携対象とするローカルファイルの設定

ファイルの配置場所: C:¥_qanatuniverse¥_qua¥userdata

参照



4.5 テスト接続

設定の確認ができれば、「テスト接続」を押して接続の確認を実施してください。
正常に接続ができると、テスト接続が成功した旨のメッセージが表示されます。

Qanat Universe

✕

Qanat Universe エージェント の設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId):

エージェントキー (agentKey):

プロキシホスト名 (proxyHost):

プロキシポート番号 (proxyPort):

既定値

テスト接続

連携対象とするローカルファイルの設定

ファイルの配置場所 :

C:_qanatuniverse¥_qua¥userdata

参照

適用

4.6 変更内容の適用

テスト接続が成功することを確認し、画面右下の「適用」ボタンを押します。

※テスト接続に失敗した場合は次項「第6章 付録 6.1 接続に失敗する場合」を確認してください。

現在の設定を適用する旨のメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。



Qanat Universe エージェントの設定

サービスへの接続設定 (gate)

エージェントID (agentId):

エージェントキー (agentKey):

プロキシホスト名 (proxyHost):

プロキシポート番号 (proxyPort):

連携対象とするローカルファイルの設定

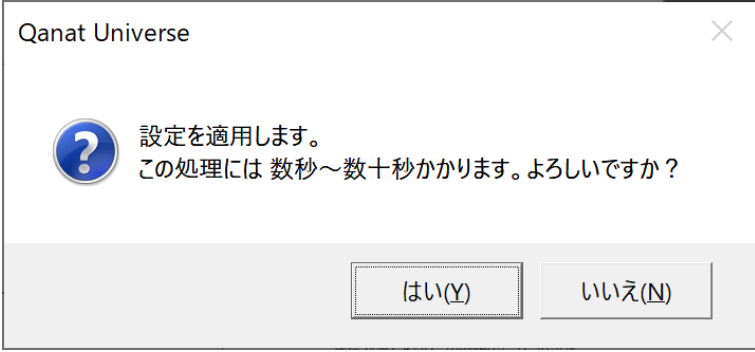
ファイルの配置場所:

既定値

テスト接続

参照

適用



Qanat Universe

設定を適用します。
この処理には 数秒～数十秒かかります。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

第 5 章 エージェントのサブフォルダの作成と設定

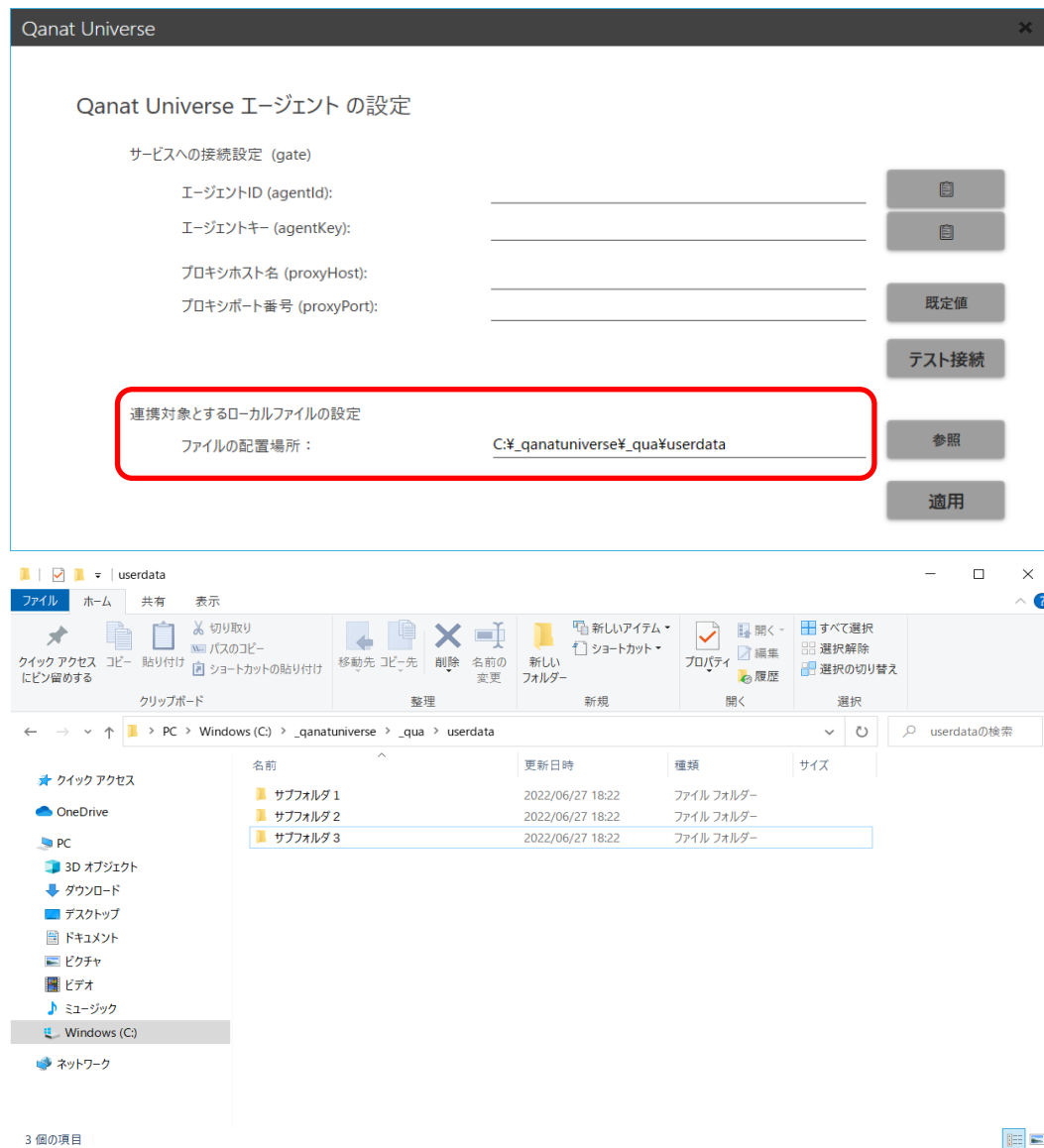
5.1 サブフォルダ設定の条件

下記のような要件の場合、サブフォルダの作成により設定ができます。

- ・ アプリごとにダウンロードするデータの場所を変えたい場合

5.2 サブフォルダの作成

サブフォルダは前頁「第4章 エージェントの動作の設定 4.4 連携するファイルを配置する場所の設定」で設定したフォルダの下に作成します。



5.3 サブフォルダの設定

サブフォルダ毎の処理内容の設定はプラグイン設定画面から設定を行います。

5.4 サブフォルダ設定の注意事項

サブフォルダを設定するにあたり以下の注意事項があります。

- ・サブフォルダは、連携対象とするローカルファイルの設定からの相対パスを指定してください。

第 6 章 エージェントの更新および更新に関わる設定

6.1 更新の仕組みと概要

本製品はネットワーク経由で更新されます。

更新の対象となるプログラムは 2 種類あります。

エージェント本体：本製品の中心部。実際のデータの読み書きをおこなうプログラム。

アップデーター：本更新を実現するプログラム。

エージェント本体の更新は、利用可能な新しいバージョンがリリースされると、バージョンアップが可能であることを通知し、バージョンアップを促します。

この通知を利用してバージョンアップを対話的におこなうこともできますし、設定によって自動的に更新することも可能です。

アップデーターは本体を更新するプログラムですが、アップデーター自体に更新が必要となる場合もありますので、この場合にアップデーターの更新作業をおこないます。


アップデーターの更新は常に手動での更新となりますので、定期的に、または新しいバージョンリリースのアナウンスがあった場合に実行してください。

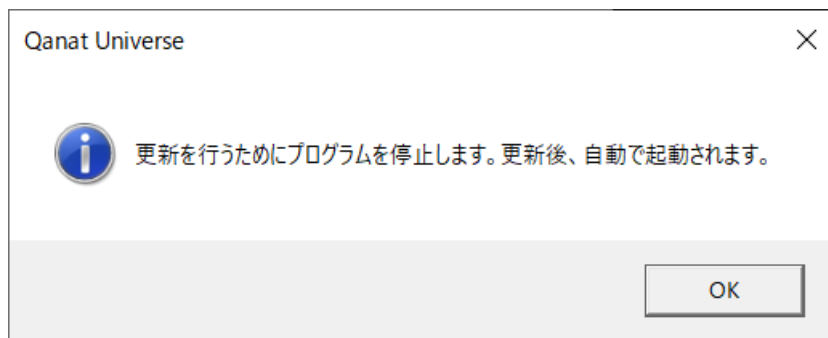
※ アップデーターの更新には、Windows サービスの停止・起動のために管理者権限が必要です。

以降ではアップデーター、およびエージェント本体の更新方法について、それぞれ説明します。

6.2 アップデーターの更新

6.2.1 更新の手順

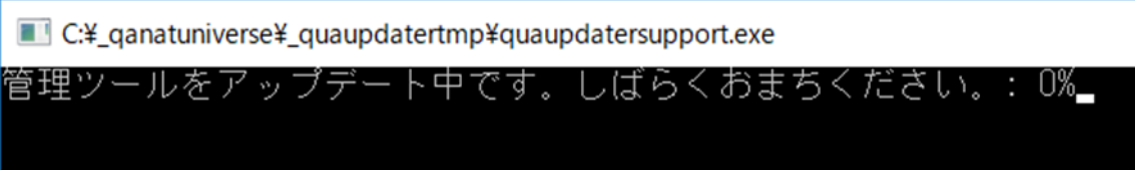
- 1) タスクトレイのを右クリックし、表示されるポップアップメニューから「アップデート」▶「アップデーター」を選択します。
- 2) 選択するとアップデーターのアップデート情報が表示されます。新しいアップデーターがある場合は、更新情報が表示され更新ボタンが押せるようになります。
- 3) 更新情報を確認し、更新ボタンを選択してアップデートを開始してください
- 4) 更新のためにプログラムの停止と更新後の自動起動を知らせるダイアログが表示されるので OK を押してアップデートを継続します。



- 5) 標準ユーザーでアップデートを行った場合、以下の様な表示がされるので管理者として実行してください。

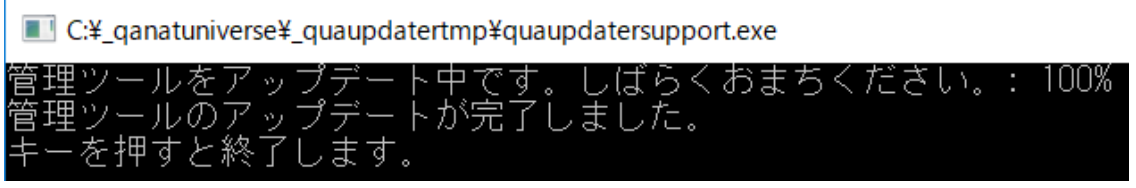


- 6) 確認後コンソールが表示され、アップデートが自動で行われるのでしばらくおまちください。



```
C:\¥_qanatuniverse¥_quaupdatertmp¥quaupdatersupport.exe
管理ツールをアップデート中です。しばらくおまちください。: 0%
```

- 7) アップデートが完了するとコンソールにメッセージが表示されるので、任意のキーを押して終了してください。




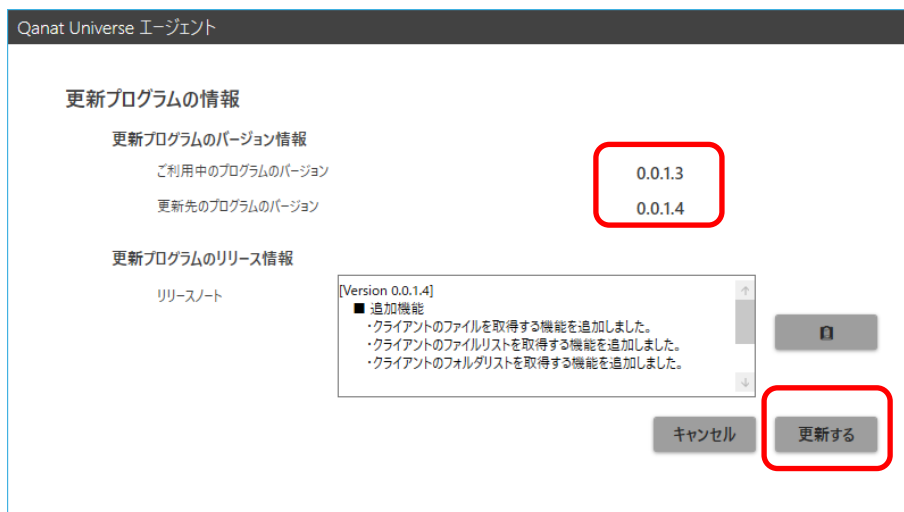
```
C:\¥_qanatuniverse¥_quaupdatertmp¥quaupdatersupport.exe
管理ツールをアップデート中です。しばらくおまちください。: 100%
管理ツールのアップデートが完了しました。
キーを押すと終了します。
```

- 8) タスクトレイに Qanat Universe エージェントのアイコンが表示されるとアップデート完了です。アップデートに失敗した場合、[Qanat Universe Agent のインストールフォルダ]にアップデートログファイル(ファイル名 : _quaupdater_update_[更新日付]. log)が出力されるのでそちらをご確認ください。

6.3 エージェント本体の更新

6.3.1 更新の手順 - 内容を確認しながら更新する場合

- 9) 新しいバージョンが利用可能であることの通知が来ます。
- 10) タスクトレイのを右クリックし、表示されるポップアップメニューから「アップデート」▶「エージェント」を選択します。
- 11) 利用可能な新バージョンの内容が表示されるので内容を確認します。
- 12) アップデートを行う場合は、「更新する」をクリックします
- 13) アップデートの進行状況を表す画面が表示されますので、完了を待ちます。
- 14) 完了の通知が表示されるとアップデートは完了です。



6.3.2 更新の手順 - 自動的に更新する場合


更新の設定により、新しいバージョンがリリースされたら自動的に更新するように設定することも可能です。

この場合、更新は自動的におこなわれるので、特段の操作は不要です。

自動的に更新するための設定方法は、「6.3.3 更新の設定」をご確認ください。

6.3.3 更新の設定

設定画面を開く

タスクトレイのを右クリックし、表示されるポップアップメニューから「設定」▶「アップデーター」を選択します。

Qanat Universe エージェント

QanatUniverse エージェント アップデーター の設定

更新プログラムの通知設定

更新プログラムの通知

通知する

現在のバージョンよりも新しいプログラムが利用できるときに通知する/通知しないを設定できます。

更新プログラムのアップデート方法の設定

更新プログラムのアップデート方法

手動でアップデートする

『自動でアップデートする』は更新プログラムがリリースされたときに自動でアップデートします。
『手動でアップデートする』は更新プログラムがリリースされたときに更新ダイアログから手動でアップデートできます。

キャンセル

適用

通知の設定

利用可能通知する/しないを指定します。

Qanat Universe エージェント

QanatUniverse エージェント アップデーター の設定

更新プログラムの通知設定

更新プログラムの通知 通知する ▼

現在のバージョンよりも新しいプログラムが利用できるときに通知する/通知しないを設定できます。

更新プログラムのアップデート方法の設定

更新プログラムのアップデート方法 手動でアップデートする ▼

『自動でアップデートする』は更新プログラムがリリースされたときに自動でアップデートします。

『手動でアップデートする』は更新プログラムがリリースされたときに更新ダイアログから手動でアップデートできます。

キャンセル 適用

「通知する」を選択した場合、利用可能な更新プログラムがある場合に、エージェントが導入されているシステムの画面上に、以下のような通知が表示されます。



QanatUniverse エージェントアップデートのお知らせ

新しいバージョンのプログラムがリリースされました。メニューのアップデートから新しいプログラムの情報を確認することができます。

quaupdaterclient

更新方法の設定

更新プログラムがある場合に、更新内容を確認しながら更新作業を手動でおこなうか、自動的におこなうかを指定します。

QanatUniverse エージェント アップデーター の設定

更新プログラムの通知設定

更新プログラムの通知

通知する

現在のバージョンよりも新しいプログラムが利用できるときに通知する/通知しないを設定できます。

更新プログラムのアップデート方法の設定

更新プログラムのアップデート方法

手動でアップデートする

『自動でアップデートする』は更新プログラムがリリースされたときに自動でアップデートします。

『手動でアップデートする』は更新プログラムがリリースされたときに更新ダイアログから手動でアップデートできます。

キャンセル

適用

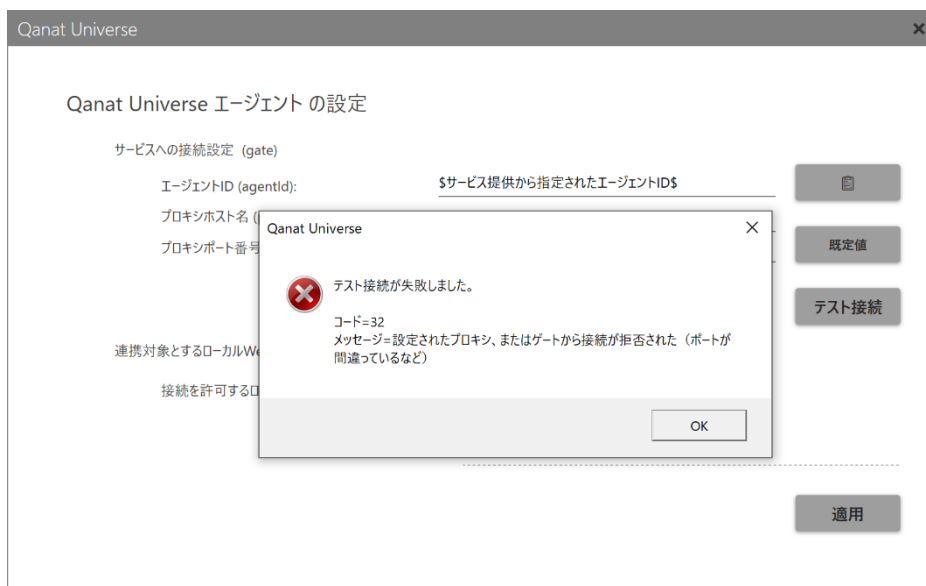
第7章 付録

7.1 接続がうまくいかない場合の対応

ツールを開いてテスト接続を実施してください。

何らかの理由により接続に失敗した場合には、接続ができなかった旨とその原因が表示されます。

表示された原因に従い、設定を変更してテスト接続を実施してください。



7.2 ログファイルの保管場所

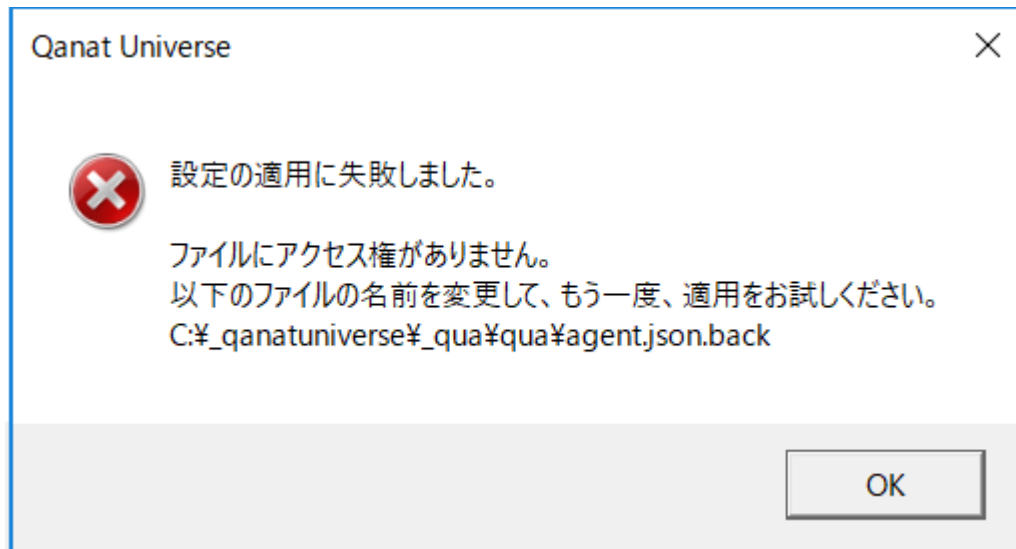
エージェントでは各種処理に関する結果をログファイルとして保管します。
記録される処理の内容と、既定での保管場所は以下になります。

ログの種類	既定での保管場所 (導入場所を変更した場合は 適宜読み替えてください)	ファイル名
エージェント本体の動作/データ連携処理結果ログ	<導入場所>%_qua%qua%log	同フォルダ内各種ファイル
更新処理のログ	<導入場所>%_quaupdater%log	quaupdater_<日付>.log
更新操作のログ	<導入場所>%_quaupdater%log	quaupdaterclient_<日付>.log

7.3 設定の適用に失敗する場合の対応

ツールを開いて適用を実施してください。

何らかの理由により適用に失敗した場合には、適用ができなかった旨がダイアログに表示されます。表示された内容に従い、もう一度、適用を実施してください。



例) 上記は何らかの理由で agent.json.back ファイルにアクセスできない状態となっています。この場合、agent.json.back を名前を変更し、もう一度、適用をお試しください。

QanatUniverse エージェント ユーザーズマニュアル

2024 年 5 月 28 日 第 1 版発行